

国際(アジア太平洋地域) 国内 経済 都市開発 TOD インフラ 上下水道 再生可能エネルギー 気候変動 生成AI オピニオン

# 建設現場で「フィジカルAI」導入へ

国土交通省は建設業界の慢性的な人手不足や構造的な課題を解決するため建設機械やロボットを自律的に制御する「フィジカルAI」の導入に向けて活発な動きを見せている。大学や大手ゼネコン、建機、コンサルタント、AI・ロボティクス関連企業などの民間事業者と一体となって急ピッチで開発を進めている。

同省が建設現場で「フィジカルAI」の活用を目指すのは深刻な人手不足の解消や安全性の向上、インフラ維持管理の高度化を実現するためだ。従来のICT施工(i-Construction)だけでは生産性の向上が頭打ちになりつつあり、自律的に判断し、行動するAIを建設現場で実用化する。

同省は2040年度までに建設現場の省人化を少なくとも3割向上させる目標を達成するため、建機の自律化などの「施工のオートメーション化」が不可欠となっており、物理的な作業を行う建機にAIを搭載することで、現場作業員の省人化と安全性向上を同時に実現しようとしている。



# アジア経済新聞

ASIAN ECONOMIC NEWS

■ **ジャンル:** 国際(主にアジア太平洋地域) 国内 政治 経済 金融 環境 気候変動 再生エネルギー  
建設 鉄鋼 製造 通信 スマートシティ 住宅・不動産 物流 テクノロジー 先端技術 外務省、国土  
交通省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、ジェトロ、経済団体 オピニオン

■ **購読料:** 20,000円(年間)消費税込み

■ **発行元:** 一般社団法人海外インフラ研究協会／アジア経済新聞

東京都港区北青山2-7-20 猪瀬ビル2F 電話: 080-4830-3330  
代表理事 磯部猛也

■ **アジア経済新聞:** 編集責任者 千原直行

E-mail: [chihara.naoyuki@gmail.com](mailto:chihara.naoyuki@gmail.com)